

PRESS RELEASE

平成 15 年 4 月 25 日

アラスカ州における SARS に対する政策

アラスカ州知事 フランク・H・ムルコスキーは 4 月 2 日、州内の SARS (重症急性呼吸器症候群) の状況について下記の声明を出しました。

「現時点、アラスカ州で SARS の発症例や疑わしい症状のある患者の報告されておられません。(4 月 24 日も現行) 州の健康管理職員は連邦政府機関である疾病管理予防センター (CDC: Center for Disease Control and Prevention) から発表される SARS の情報を随時アラスカ各地の医療関係者に送っております。これにより、医療現場で SARS の症状を早い段階で見分け、発症例が出た場合には直ちに CDC や州に報告することができます。

現在、CDC スタッフ、米国税関職員、そして国境保安職員が発症例のあるアジア諸国からアンカレジ国際空港に到着する乗客に CDC が発行している SARS についてのインフォメーション・カードを配布し、注意を呼びかけています。

http://www.cdc.gov/ncidod/sars/travel_alert.pdf (インフォメーション・カードの情報: 英語表記)

また、アラスカ州公衆衛生局 (Alaska Division of Public Health) では疑わしい症状の患者が出た場合、各関係機関と共に早急に対処するためにアクション・プランの準備も整っています。今後もアラスカ州として状況を注視し、随時情報を公開していきます。」

~ 当リリースに関するお問い合わせ先 ~

アラスカ観光協会 担当: 山口 (幸恵)・山本

TEL: 03-5363-1166 / FAX: 03-5363-1118

URL: www.alaska-japan.com